

# 売上高は前年比12.5%の増加

## 営業利益58.5%増、経常利益32.2%増に

天昇電気工業(本社・東京都町田市南町田五丁目3番65号)は、石川忠彦社長)は、このほど2020年3月期第2四半期決算(2019年4月1日)と同9月30日)連結決算をまとめた。それによると、売上高は前年同四半期比12.5%増の91億7,100万円、営業利益は同58.5%増の5億7,700万円、経常利益は同32.2%増の5億4,700万円となった。

同期間における我が国経済は、引き続き、

政策により雇用・所得環境の改善が期待されるが、通商問題等を巡る緊張、中国経済の先行き等の海外経済の影響に加え、消費税率引き上げ後の消費マインドの動向等に留意する必要がある。先行き不透明な状況が

つた。

このような状況の下、天昇電気グループは引き続き設備の改善・更新による生産性の向上、徹底した工程改善、効率化等の原価低減

を継続し、営業利益は同58.5%増の5億7,700万円、経常利益は営業外費用に支払利息、為替差損を計上したこと等により同32.2%増の5億4,700万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同63.9%増の3億5,900万円となった。

アメリカ成形成関連事業

アメリカ企業を中心に受注拡大に向け営業活動に注力した結果、テレビ部品、玩具、家具等に加え、医療機器関連の部品受注も引き続き好調に推移し、売上高は79億7,400万円(前年同四半期比7.1%増)、セグメント利益は129.8%増のセグメント利益は

2020年3月期通期の業績予想

なお、同社は2019年8月20日開催の取締役会において、タキロン・ナイフに対し第三者割当による自己株式の処分を承認することを決議し、同年9月5日に自己株式処分が完了し、帰属する同期純利益は6.9%増の6億3,000万円と予想している。

製造経費の減少等により3億9,000万円(同72.4%増)となった。

中国国内では、物流産業相模原市、伊那市の賃貸建物及び二本松市所在の土地から構成されている。売地から構成されている。売地から構成されている。売地から構成されている。

ト利益は6,000万円(同437.9%増)となった。

不動産関連事業

相模原市、伊那市の賃貸建物及び二本松市所在の土地から構成されている。売地から構成されている。

確定した原価低減等により1,300万円(同50.3%増)となった。

中国成形成関連事業

アメリカ成形成関連事業

2020年3月期通期の業績予想

製造経費の減少等により3億9,000万円(同72.4%増)となった。

中国成形成関連事業

アメリカ成形成関連事業

2020年3月期通期の業績予想

製造経費の減少等により3億9,000万円(同72.4%増)となった。

製造経費の減少等により3億9,000万円(同72.4%増)となった。



当社製品「テンレイン・スクラム」キャラクター「もぐレイン君」

プラスチックの特徴を生かしきる

そこに最高品質の

情熱が生かされる

プラスチック業界のバイオニア

# TENSHO

天昇電気工業株式会社 〒194-0005 東京都町田市南町田五丁目3番65号 天幸ビル17  
TEL: 042-788-1555 FAX: 042-796-6333

国内工場: 福島工場・矢吹工場・群馬工場・埼玉工場・三重工場 / 海外拠点: 中国・アメリカ・メキシコ・ポーランド

<https://www.tensho-plastic.co.jp/> 天昇